

及

鷹山宇一記念美術館友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

平成27年9月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



《森の花》

1973年制作

第58、100回二科展

絵画に空気存在を認める

主要な遊蝶花のモチーフが前面に大きく配され、背景にはスフマート(ぼかし技法の一種)と遠近法による、空気の実在感を強く伴った風景が広がる。鷹山の「遊蝶花」シリーズに多く見られるこの構図は、古くはミケランジェロ、ラファエロ、ダヴィンチといった盛期ルネサンスの代表作家たちの仕事に多く見ることが出来るものである。ルネサンス研究の中で「手前の主題はモチーフの形状描写、背景はモチーフの内的描写、あるいは内面に影響を与える描写である」という人もいる。

《森の花》は、第58回二科展に初めて出展され、現在は国立新美術館にて開催された第100回記念二科展において「戦後二科を牽引した作家たち」として紹介されたため貸し出し中となっている。前述のような簡潔な構図によつて構成された本作を鑑賞するならば、例えば見る人は、花↓背景↓乗馬の人↓…というように視点が移動していくことだろう。花をみた影響下の目で背景をみて、背景をみた影響下の目で乗馬の人をみて、また花に戻り…という一連の流れの中で、鑑賞者はいつのまにか、自身の脳内で作品に描かれていないものが生まれ始めてしまっていることに気づくだろう。それを私は、「絵画の中の空気」と呼んでいる。窒素、酸素、二酸化炭素で構成されたモノとしての「空気」でもあるし、最近よく耳にする「空気を読む」「空気」でもある。画面上でそれぞれのモチーフを媒介する空気は目に見えず、しかしその空気こそ作家の精神作用を最もよく表現しているものとも言える。そう思うと、鷹山がある時期、構図もモチーフも極めて限定し、マティエールの洗練を求め続けたことも、ちよつと気持ちかわかる気がしてくる。

(学芸員 清水輝大)

幻の画家・多田瓊林

本展を鑑賞された会員よりお便りを頂きましたのでご紹介致します。ありがとうございました。

多田瓊林展

に寄せて

六戸町 吉田みち子

七月十八日、中学校同期会の友人から明日七戸の美術館へ行こうと誘いの電話がありました。七戸町立鷹山宇一記念美術館で七月十一日(土)から八月三十日(日)まで「県南コレクション展 第3期 特集 多田瓊林」が開催されていることは知っていました。また、十九日(日)には十和田市在住の郷土史家山崎栄作氏の「幻の画家・多田瓊林」と題してのトークイベントがあるとの事、それならばと出かける約束をしました。

私と七戸町在住で多田瓊林の長女である古屋敷久美子さん、山崎栄作さんとは中学校同期会の友人で、普段は名前でお呼びあい、何気なくお喋りとカラオケを楽しんでいます。でも、明日、美術館に行ったらさりげなく接していよう。同期会じゃないから・・・当日

午後二時からのトークイベントに参加。適度の緊張を感じながら説明を聞きました。多田瓊林の絵との最初の出会い、その後多くの作品との出会い、そして人との縁など話題に引き込まれて行きました。そのような説明を聞いていくうち、五年前に十和田市で開催された「多田瓊林展」のお手伝いをしたことを思い出し、この様な画家の展覧会にお手伝い出来たことを、今更ながら誇らしく思いました。



郷土史家山崎栄作氏によるトークイベント

美術館の二階工房での説明の後、各展示室に移動し、絵画一点、一点についての説明を聞くことになりました。戦後の大変な時代にもかかわらず、何物にも負けない強い精神力と一点の曇りもない眼と心でこの様な作品を描き、燃え尽きるような人生だったのではないかとこの想いを強

く感じました。また、ふすまや屏風などの大作を所有者の方々が長年にわたり本当に大切に保存されておられるとお話しを直接聴くことができ、心から感激しました。五年前とは別の多田瓊林の作品にも出会う事が出来、鷹山宇一記念美術館の展示室に溶け込んでいた作品群に魅了されました。友の会の会員になってまだ数年ですが、美術館がとても身近に感じられる充実した一日を過ごすことが出来ました。

“凍”とした美しさ 多田瓊林展を見て

七戸町 佐々木洋子

“瓊” こんな字は見たこともない。どんな意味があるのかな。多田瓊林という日本画家の名前を見たとき、まずこんなことを考えていました。調べてみたら「美しい玉」とか玉のように美しい」という意味があるという。その熟語には瓊筵という言葉があり「玉をちりばめたような美しいむしろ」という意味だそうです。「そうか、いかにも日本画家らしい、きれいで品のある名前だ」と分りました。多田瓊林画伯の略歴を読むと、大変な実績のある画家であること、同時に、私にも少しのめぐり合わせがあることも分かりました。瓊林の長女の久美子さん、私の子どもと子ども同士が同じ中学校、さらに多田瓊林を紹介した山崎栄作さんとは古い

知り合いということ。「これは行ってみなくっちゃ」と早速、十和田市文化センターに出かけました。これが七年前のことです。実をいうと、私は絵の鑑賞は好きで美術館に行くことはありましたが、日本画を見る機会が少なく、このようなことでもなければ日本画は見に行くことがなかったように思います。今度の「県南コレクション展 第3期 特集 多田瓊林」を見て、多田瓊林の作品を見るのは三度目です。今回は、山崎栄作さんの講演もあるということで、友人と四人で鷹山宇一記念美術館に出かけました。前の二回よりも作品が多く、準備に携わった方々の熱意の程が感じられました。

地元で画業にいそしんだことから、ふすまや掛け軸など実生活と結びついているものも多く、絵を見ていくうちに、知っているような風景、忘れかけていた昭和の農村や生活などほのぼのとした思い、懐かしさがこみ上げてきました。同時に作品全体に流れている“凍”とした美しさは、胸に迫ってくるものがあります。私は「猫と牡丹」という作品が特別気に入りました。この作品は構図が見事で、牡丹の白さに格別心を引かれ、家に持って帰って飾りたいと思いました。このような多田瓊林画伯の偉業は、人に知られることがなかったのですが、今度の特別展でさらに多くの人々の心をふるわせることになることをうれしく思っています。

多田瓊林

ただ・けいりん

来館者
ア
ン
ケ
ト
から

鷹山美術館夏の特別企画展「(県南)コレクション 展第3期 特集 多田瓊林」が終了いたしました。会期中は二千人もの皆様にご観覧頂き、様々な嬉しいお声を頂戴いたしましたので、ここにその一部をご紹介します。

○七戸という町を愛されている、そんな想いが表れている展覧会です。美術館という少し肩の力が入る感がありますが、優しさに引き込まれる空間でした。(60代女性、東京都中野区)

○絵には興味はなかったのですが、本物を見てすごいなーと思いました。職場が近いので、また足を運びます。(40代女性、十和田市)

○多田展は今日2回目の来館でしたが、農家の新築祝いを描かれた絵をみたとき、描いていただいた家の方はどんなに嬉しいだろうを思っていました。今日ご家族の名前がウラに書いてあることを知り、作者のあたたかさ

絵にあふれていることを強く感じました。(60代女性、七戸町)

○身近な、とても親しみやすい、だけどしつかりとした展覧会、もう一度みたいと思いますし、鷹山美術館の底力を知り、ファンになりました。(70代女性、十和田市)

○十和田に住んでいた日本画家がいるとは知らなかった。動物たちの表情や体の動きがとてもユニークだった。キャプションに工夫を感じた。小さな美術館で展示の企画は大変だと思うが、これからも地元に着目した展示を行ってほしい。日本画を題材にしたものが好きです。(20代女性、茨城県つくば市)

○大変精神性の高い展覧会だった。作品の質が高く、尚且つ、ここでしか見られない。地方の小さな美術館だが、細かいところまでデザインされ、初めての来館だったが驚いた。これからも頑張ってください。(40代男性、八戸市)

もっともっと
多田瓊林が
知りたい!

多田瓊林展は終わってしまいましたが、もっと多田瓊林を知りたい!という方へ、関係する施設を学会員の独断でご紹介。これからの季節、紅葉などでもいい場所にある美術館もありますので、秋の行楽シーズンのご参考にぜひ!

【師匠の美術館】

玉堂美術館



玉堂美術館。建物は吉田五十六によるもの

川合玉堂の画業を顕彰する美術館。四季折々でかわる玉堂の展示も然ることながら、吉田五十六による建築や枯

山水の庭園、大銀杏の紅葉も見どころです。学会員も学生時代、一息つきによく訪れたものでした。瓊林は玉堂の孫弟子にあたります。

○データ
玉堂美術館
東京都青梅市御岳1の75
→JR青梅線御岳駅下車

天童市美術館



天童市美術館。熊谷守一らも収蔵。

山形時代から瓊林と画業をともしした今野忠一作品を多く収蔵し、忠一の常設展示室も設置。また他にも天童市ゆかりの熊谷守一や豊田豊らを収蔵。

○データ
天童市美術館
山形県天童市老野森1-2-12
→JR天童駅より徒歩15分

特別常設展

『レセプターオブしちのへ』

鷹山宇一と石井キク

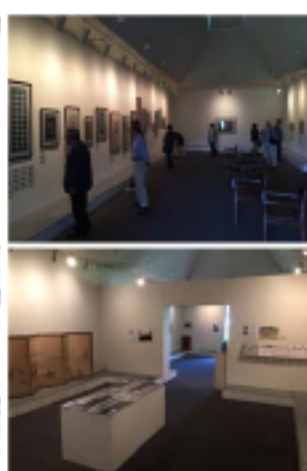
はじまる！

9月12日(土)より、特別常設展『レセプターオブしちのへ』鷹山宇一と石井キクを開催しています。本展覧会は、七戸にゆかりのある作家の作品を、七戸の記憶を過去から未来へとつなぐレセプター(受け取った刺激を、使える情報に変換する構造のこと)として捉え、紹介していく展覧会です。常設展として当館所蔵作品を中心に展示していますが、併せて、会期中しか見られない関係する資料や作品を様々な借用展示しています。



好評開催中です！

第1回目の今回は、鷹山宇一とあわせて、七戸において、南部菱刺をはじめとした多くの優れた民藝作品を残した石井キクを取り上げています。当館所蔵作品に加え、瑞龍寺所蔵の大作や紙人形も一堂に展示。「七戸菱刺」とも称された、独自の色彩・構成センスによる石井キクの仕事をまとめて見られるのは今だけ！お見逃しなく！



初日の様子

吉田初三郎・鳥獣図も

平成27年度鷹山美術館
展覧会開催スケジュール
変更のお知らせ

美術館展示室内の設備整備のため、誠に勝手ながら、平成27年度の展覧会開催スケジュールを変更させていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご承知おき下さいませ。何卒よろしくご願ひ申し上げます。

▽特別常設展 『レセプターオブしちのへ』鷹山宇一と石井キク(9月12日(土)～10月12日(月祝))

▽『第75回国際写真サロン展』10月20日(火)～11月8日(日)
▽『第15回鷹山賞児童作品展』第15回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展(11月15日(日)～2016年1月17日(日))
▽『施設整備・展示替え休館』1月18日(月)～3月31日(木)
※来年度開館予定は追ってお知らせいたします。

鷹山美術館・寺山記念館・十和田現美
『3館連携ぐれっとパス』
はじまる！

ぐれっとパス
TERAYAMA
3
1,000、1,500
30、10、ぐれっと

七戸・鷹山、三沢・寺山、十和田・現美の3館をお得にまわれる『ぐれっとパス』が今年度も発売になりました！

このパスポートを持っていると、期限内で3館を大人1000円でまわらせてしまう(ただし、十和田現美企画展を観覧するには追加料金が必要)他、3館を回ってスタンプがたまると、期間限定のオリジナルステッカーのついた

ポストカードセットをプレゼント。ご購入は、各美術館もしくは、コンビニ各店(設置されている端末でJTB商品番号0241144を検索)にて。
また、期間内には、このパスポートとは別に、パスツアーも開催。各館の学芸員が解説したり、ランチやスイーツがついちゃいます！こちらもぜひ七戸や十和田からバスに乗車することもできます。

▽3館で有効『ぐれっとパス』大人1000円、大学生500円(高校生以下の設定は無し)、有効期間9月17日～翌年1月17日。3館をすべてまわると、最後の美術館でぐれっとパスオリジナルロゴステッカーのついた、各館ポストカードセットをプレゼント！未使用の場合、左記パスツアーの割引あり。

▽1日で3館を解説つきでまわっちゃうパスツアー『ぐれっとパスツアー』10月10日(土)実施、大人3000円、大学生2500円、高校生以下2000円、学芸員解説とランチとスイーツ付き。発着場所は八戸ポータルミュージアムはつち、八戸駅西口バスターミナル、鷹山宇一記念美術館、十和田市現代美術館から選べる。募集締め切りは10月6日(火)。お申し込みお問い合わせは公益社団法人八戸観光コンベンション協会(電話0178・411661)まで。

教育普及だより

連続企画！

『タカビキッズあそぶ』

実施中です！

今年度より毎月最終土曜日に実施している『タカビキッズあそぶ』。これは、主に小学生くらいを対象に「はじめての美術館体験」をテーマに、美術館スタッフやサポーターのみなさんと一緒に、体いっぱい遊んで、様々なことを発見したり気付いたりする連続企画です。その様子を写真でご紹介！

●〇7月25日実施○●

『バスバサフルブル』

でっかいクモの巣！

美術館前スペイン広場で実施。好きな色のスズランテープをもって、ひたすら走り回りました。雨上がりで地面はぐちよぐちよ。でも、裸足で走り回ると気持ちよかったです！はじめての実施で広報もあまりできなかったのですが、少数の参加者のみなさんとスタッフみんなで、汗だくになって遊びました！楽しかった！



端を結びつけて…

スタート！！
すぐにスペイン広場はカラフルに！



●〇8月29日実施○●

『カラフル水鉄砲大作戦！』

美術館前スペイン広場で実施。美術館から配布された白いTシャツをきて、好きな色の色水を充填した水鉄砲で本気で戦いました。当日は、見学の保護者の皆さんを含めて80人以上も集まってくださり、下は幼稚園児、上は60代の参加者がみんな色水をかけあいました。参加者の白いTシャツはみるみるカラフルに！戦ったあとは、お

互いのTシャツを鑑賞し、きれいなところやおもしろいところ、不思議なところを話し合いました。タカビキッズあそぶは1時間だけの企画なのですが、今回は「もつとやりたかった！」と泣いてしまう参加者までいました。



それぞれ特徴がありました。

戦う背中！



おとももこどもも！



『タカビキッズサポーター』

募集中です！

鷹山宇一記念美術館では、こどもたちとの楽しい活動をサポートしてくださるボランティアを募集しています。美術についての知識や経験なんて全く不問。こどもたちと、一緒に楽しみ、時には一緒に悩んでくれる方を募集しています。現在、七戸町内や近隣地域から、下は中学生から上は70代の方まで登録いただいています。いつも、お菓子をかこみながらワイワイ楽しく活動しています。

ありがたいことに、『タカビキッズあそぶ』への参加者が爆発的に増えてきており、サポーターさんの数が足りません。安全で楽しい企画を行うためにも、少しでも興味があれば、お気軽に美術館（担当・清水）までご連絡ください！心よりお待ちしております。

**タカビキッズが
始動！第1期の
サポーター募集**

おなじみの『タカビキッズあそぶ』の活動をサポートしていただくサポーターを募集しています。おなじみの『タカビキッズあそぶ』の活動をサポートしていただくサポーターを募集しています。

募集要項

募集期間：2019年7月25日～2020年6月30日

募集人数：10名程度

募集対象：小学生以上、中学生以上、高校生以上、社会人、主婦、学生、高齢者など

募集場所：鷹山宇一記念美術館

募集方法：お問い合わせ先までご連絡ください

お問い合わせ先：鷹山宇一記念美術館 企画課

〒987-8501 宮城県七戸町鷹山1-1-1

TEL: 022-72-21111

FAX: 022-72-21112

E-MAIL: takabiki@eiya.or.jp

ホームページ: www.eiya.or.jp

美術館 日誌

◇7月◇

1日(水)平松礼「作品鑑出」3日(金)5日(日)作品清浄作業 6日(月)多田瓊林作品集荷・展示室清浄 7日(火)9日(木)展示替 9日(木)富士美術館様来館 10日(金)開催式 11日(土)多田瓊林展開催初日 16日(木)伊藤画廊様来館 18日(土)タカビキッズサポーター説明会 19日(日)山崎栄作氏トークイベント 20日(月)ギャラリートーク 25日(土)面接試験・タカビキッズあそぶ 26日(日)ギャラリートーク

◇8月◇

4日(火)道ノ上こども園WS(穂積教育普及員)・城南小打合(清水学芸員) 6日(木)公益勉強会・山本氏来館 11日(火)絵馬館閉鎖 12日(水)十和田市現代美術館藤館長来館 14日(金)三館連携打合(清水学芸員) 20日(木)七戸小打合(清水学芸員) 22日(土)七彩会・六ヶ所ちとせ平小WS(穂積教育普及員) 23日(日)山崎栄作氏トークイベント 24日(月)横浜小講演(清水学芸員) 25日(火)中部上北相談室ギャラリートーク 27日(木)生涯学習課今泉様来館、町所有作品確認 28日(金)三館連携打合(清水学芸員) 29日(土)タカビキッズあそぶ・理事会・懇親会 30日(日)多田瓊林展終了 31日(月)多田瓊林作品返却・学芸員実習生受入

◇9月◇

1日(火)3日(木)展示替・学芸員実習生受入(1:2日) 2日戸館常務理事東京出張(1000回記念二科展・国立新美術館) 4日(金)6日(日)鷹山宇一と石井キク展フレ展示 8日(火)11日(金)展示替 12日(土)鷹山宇一と石井キク展開催初日・八戸市すみれ会様ご来館・七彩会 16日(水)野辺地若葉小見学、ギャラリートーク 17日(木)三館連携記者会見(鷹山館長)・七戸小講演(清水学芸員・穂積教育普及員)・小松ケ丘幼稚園見学 18日(金)十和田市現代美術館内覧会、レセプション(鷹山館長・清水学芸員) 19日(土)まちなかギャラリートーク(鷹山館長) 25日(金)学芸員実習生受入 26日(土)タカビキッズあそぶ・教育実習生受入



現在開催中の「鷹山宇一と石井キク」展の様子

美術館新職員紹介

◇事務員◇

成田江利子さん



4月から経理・庶務の仕事をしていただきます。成田江利子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、高校卒業後から十和田市内で販売経理、一般事務の仕事をやってきました。この度は、地元の鷹山宇一記念美術館で仕事をやる機会を与えていただき、本当に有難いことだと思っております。職種が同じでも業務内容によつて経理の仕方が違うので、早く慣れて皆さんの力になれるよう努力してまいります。

私の今の楽しみは、帰宅して韓国ドラマの録画を見る事。また趣味はお菓子作りで、一番得意なのはシフォンケーキですが、この頃は全然焼いていないので秋にかけて焼き始めようかと思っております。

もうすぐ入社して六ヶ月になります。が、まだまだ不慣れですのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

◇教育普及補助員◇

織川孝子さん



9月より採用されました織川孝子と申します。名前を聞かれて気付かれた方もいらっしゃると思います。が、以前こちらの美術館に勤めておりました。またこの鷹山宇一記念美術館でお仕事ができること、皆様と一緒に活動が出来ることを心から嬉しく思っております。

私自身、絵を描くことが好きでこの美術館にはよく足を運んでおりました。目で見て学び、ワークショップに参加して体験することの楽しさを学ぶことのできるこの美術館で、また来たいと思える心地の良い美術館を目指し、受付やワークショップ補助業務をこなしていきたいと思っております。

まだまだ勉強不足で気付かない点がいっぱいあります。お越し頂いた際は是非些細なことでもかまいませんので、ご指導をお願い致します。どうぞ宜しくお願い致します。

スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展

「鉄をアートにした男」、「20世紀における鉄彫刻の父」と称され、現在も大きな尊敬を集めているスペインの彫刻家「フリオ・ゴンサレス」の仕事を紹介する。日本において体系的に初めて紹介するというパンフレット等の言葉に好奇心を触発されて八月下旬に盛岡市中央公園内の岩手県立美術館を訪問した。

盛岡駅到着後、駅西口にある超高層ビル・マリオス（地上20階、地下2階建て、高さ92m）展望室から盛岡市内を眺めながら市内観光の下調べをし、タクシーで県立美術館へ移動。

受付嬢の笑顔と高い天井と緩やかなカーブを描き南北に長く伸びるギャラリー・ギャラリー（写真・左）に迎えられ、作品を鑑賞した。

「鉄」という素材のイメージから「ゴツゴツして硬く冷たい」感じではない



だろうかという先入観を持っていたが、鍛造、切断、曲げ、エングレービング、溶接等の鉄彫刻の技法を駆使して制作した作品の表面はなめらかで手の温もりが感じられ、形に動きを感じ、ユーモラスな側面もあるように思った。

図録の解説や年譜から、画家の道を志し一家でパリへ移住したフリオ・ゴンサレス（1876〜1942）の彫刻家としての活動は、五十年代半ばから晩年までのわずか10年余りの短い期間だったことを知り、咄嗟に「芸術は爆発だ」という岡本太郎の言葉を思い出した。

企画展示室からギャラリー・ギャラリーへ出て常設展を鑑賞。東京都美術館に萬鐵五郎、松本竣介の作品数点を貸出中とのことだったが岩手県立美術館友の会ボランティアさんから萬鐵五郎「赤い目の自画像」等の作品解説を聞くことができ、楽しい時を過ごすことができた。

岩手山の眺望が自慢という美術館内のレストラン「パティオ」で昼食をとり、ミュージアムショップでフリオ・ゴンサレス展の図録を購入し、盛岡市先人記念館へ向かった。

※フリオ・ゴンサレス展は、長崎県美術館（終了）を皮切りに岩手県立美術館（2015年8月1日〜9月23日）、世田谷美術館（2015年11月28日〜2016年1月31日）、三重県立美術館（2016年2月9日〜4月10日）で順次開催予定。

参考：スペインの彫刻家フリオ・ゴン

サレス展図録&パンフレット、盛岡ガイドブック&もりおか

マップ等

岩手県立美術館

電話 019-658-1711

第53回盛岡市先人記念館企画展 旅する日本画家

—藤島静村—

常設展示している新渡戸稲造、米内光政、金田一京助の各展示室を見学、2階に進み、藤島静村の作品を鑑賞してから、1階ロビーの椅子に腰掛け、パンフレットと資料を読んだ。

略年表によると静村の旅は、明治39年（1906）の石川県金沢滞在に



盛岡市先人記念館外観

始まり北は、青森県五戸、八戸、南は九州鹿児島まで、さらに現在の大韓民国ソウル市にも滞在したと記されているのでまさに「旅する日本画家」、「旅人・藤島静村」と思った。

静村が旅を続けた理由は「家族のため」であり、「息子たちをひとかどの人物にすることを一生の楽しみにしていた。」ということを知り、家族と過ごす時間は少なかつたけれど家族思いの良き父であり、生涯を画業に打ち込んだ立派な方だったのだと思った。

パンフレット等には殆ど記されていないが、子供達を大成させた明治生まれの夫人は、どんな方だったのだろうかと思いつつながら帰路についた。

参考：第53回盛岡市先人記念館

企画展パンフレット等

盛岡市先人記念館

電話 019-659-3338

鷹山宇一記念美術館友の会会員

八戸市 照井壽一

加賀会席と金沢21世紀美術館鑑賞の旅

日 程 表

1日目 平成27年11月7日(火)

東北新幹線 最寄り駅集合

新青森駅発 7:43 → 七戸十和田駅発 7:58 → 八戸駅

& 11 → 金沢駅着 13:00 昼食はお弁当)

貸切バスで市内観光 → 安江金箔工芸館 → ひがし茶

屋街自由散策 → ホテル → 市内にて夕食

【ANAグランドプラザホテル連泊】

2日目 1月8日(水) (貸切バス利用)

ホテル → 金沢城公園 → 五十間長屋/兼六園 → 金沢

21世紀美術館(各自昼食) → 石川県立美術館 →

金沢伝統工芸体験又はフリータイム → 市内にて

加賀会席の夕食 → ホテルへ

3日目 1月9日(木)

ホテル → 長町武家屋敷跡散策 → 近江町市場/自由

散策 昼食 → 金沢駅集合 → 金沢駅 B:33発 →

八戸駅 19:09 着 → 七戸十和田駅 19:22 着 →

新青森駅 19:37 着

北陸新幹線開業を記念しての「加賀会席と金沢21世紀美術館鑑賞の旅」研修。定員にまだ若干の余裕がありますので追加募集致します。ぜひご参加下さい。

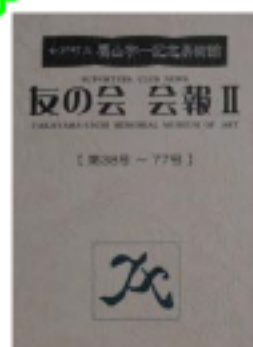
◆ご旅行代金 139,000円

◆申込み締切 平成27年10月15日(木)

◆説明会 10月下旬(予定・ハガキで案内)

◆申込み・問い合わせ先

鷹山宇一記念美術館友の会：0176-62-5858



・送料一冊 一〇〇〇円
 ・合本一冊 二〇〇〇円
 ・申込先 鷹山宇一記念美術館

★20周年記念「友の会」
 会報合本Ⅱ」発売中
 友の会では、第38号から77号までを一冊に合本、有料頒布しています。平成17年から10年間をたどる資料として是非ともご購入をお願い致します。

新規会員入会お誘いのお願いと

友の会会員登録更新のお願い

平素から会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。今後とも、鷹山宇一記念美術館の応援をよろしくお願い申し上げます。友の会では会員の皆様に喜んでいただけるよう研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

- 年会費 3千円
 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引
 ②ミュージアムグッズ1割引
 ③研修会、講演会への招待、優待
 ④他美術館等の視察研修への優待参加
 ⑤会報の配布

○特別会員

- 年会費 1万円
 (個人・法人)
 ①一般会員特典に加えて
 ②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

- 年会費 2万円
 (個人・法人)
 ①一般会員特典に加えて
 ②新規加入の方に画集1冊贈呈
 ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★新規会員の会費について

会費の納入は随時受け付けておりますが、平成27年10月1日〜28年3月31日迄の間に新規会員となった方は平成29年3月31日までの会費となります。

編集後記

★会報も号数を重ね第80号となりました。これも一重に鷹山宇一記念美術館&友の会・会員各位のご理解とご支援があればこそ継続できたことで、心から感謝申し上げます。有り難う御座いました。今後とも紀行文等会報作成へのご協力と新規会員入会のお誘いを宜しくお願い申し上げます。(照井壽一)